

2014年12月4日

報道関係各位

株式会社ジェイアール東日本ビルディング

「JEBL秋葉原スクエア」新築工事着工について ～ジェイアール東日本ビルディング 初の単独開発ビル 2016年8月竣工予定～

株式会社ジェイアール東日本ビルディング(本社:東京都中央区八重洲、代表取締役社長 田邊 滋)は、東京都千代田区神田練塀町において、「JEBL秋葉原スクエア(ジェイビルアキハバスクエア)」の新築工事に着手しました。

「地域・歴史性をふまえた開発」、「高品質なオフィス空間の提供」、「環境配慮・BCPをふまえた計画」の3つを軸に、2016年8月の竣工を目指し、取り組んでまいります。



※「JEBL秋葉原スクエア」は、(株)ジェイアール東日本ビルディングが登録出願中の標章です。

※内容は予定であり、変更となる場合があります。

※このリリースは、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR記者クラブ、国土交通記者会に同時配布しています。

■計画の特徴

地域・歴史性をふまえた開発

- ・町名の由来である「練塀」をデザインコンセプトに、積層・横基調が特徴的な外観とします。
- ・賑わい創出を目指し、下層階(1~2階)に広場やバルコニーに面した店舗を配置します。



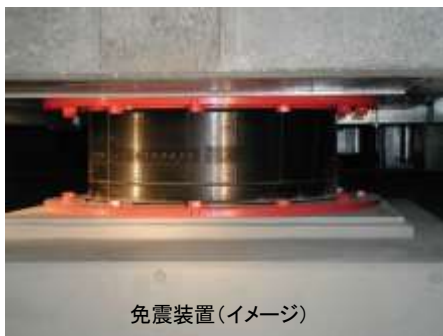
高品質なオフィス空間の提供

- ・3~12階は、貸室面積約660㎡(約200坪)の整形・無柱の空間、天井高さ2,800mm、OAフロア100mmを確保する高品質なオフィス空間を提供します。
- ・入退館管理は、Suicaカードを利用したセキュリティシステムを採用します。
- ・最上階には、入居テナント専用の屋外テラスと一体になったスカイラウンジを設置します。



BCP、環境配慮をふまえた計画

- ・免震構造の採用、72時間以上供給可能な非常用発電機(一部電源をテナント専用部にも供給可能)の設置により、災害時等におけるテナントの業務中断リスクを低減します。
- ・Low-eガラス・全館LED照明・昼光センサ・太陽光パネル等の採用、屋上・外構の緑化により、環境負荷の低いサステイナブルなビルを目標とします。



■計画概要

建物名称 : JEBL秋葉原スクエア(ジェイビルアキハバスクエア)

[旧称:(仮称)秋葉原開発プロジェクト]

所在地 : 東京都千代田区神田練堀町76 他

構造 : 鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、
鉄筋コンクリート造、免震構造

敷地面積 : 約1,410㎡

延床面積 : 約11,650 ㎡

階数 : 地上13階、地下1階、塔屋1階

主要用途 : 事務所、店舗、駐車場

設計・監理 : 株式会社日建設計

施工 : 大成建設株式会社 東京支店

着工予定 : 2014年12月

竣工予定 : 2016年8月



位置図

【参考:会社概要】

社名 : 株式会社ジェイアール東日本ビルディング

本社所在地 : 東京都中央区八重洲二丁目2番1号

代表者 : 田邊 滋

資本金 : 4.8億円(東日本旅客鉄道株式会社100%出資)

設立 : 2005年7月1日

事業内容 : 不動産事業、ビル運営、コンファレンス運営、その他

(株)ジェイアール東日本ビルディング(JEBL)は、JR東日本のオフィス事業子会社として2005年に設立しました。サピアタワー、グラントウキョウサウスタワー、JR南新宿ビル、JR神田万世橋ビル、JR大塚南口ビルなど、JR東日本の各プロジェクトに開発段階から携わり、竣工後の運営を担っております。